



悟 員  
保坂 議 員  
学校教育・子育て  
支援は

中学生海外派遣事業は

質問

事業復活を求めてきた中学生海外派遣事業は、23年度に復活する予定だが、これまでの派遣事業との違いについて伺う。また、23年度に導入する予定

の「通学バス購入費助成」の内容について伺う。

教育長答弁

中学生海外派遣事業では、ジオパーク学習や英語学習への意欲を高めてもらう目的で、一定程度の学力や意欲を持つ生徒を派遣する考えである。派遣先



立一 員  
田中 議 員  
県道能生インター  
線の安全対策は

通勤・通学時の安全は

質問

能生駅から国道8号に至る県道能生インター線は、両側の地域に住宅や店舗などが並び、県道を横断する車や歩行者も多い。特に朝夕の通勤・通学の時間帯

は混雑しているが、その安全対策について伺う。

また、能生生涯学習センター開館に伴うバス路線の変更について伺う。

市長答弁

県道の安全対策については、糸魚川警察署、交通安全協会

は、糸魚川ジオパークと姉妹提携している香港ジオパークに変更し、国際感覚やジオパークに関する知識を身につけてもらう機会にしたいと考えている。

通学バス購入費助成は、主に遠距離通学補助の対象外地域の小・中学生が定期券を購入することに、通年運行の糸魚川バス路線全線の乗車が可能となるもので、これまで市の助成が受けられなかった保護者の負担軽減を目的とした助成制度である。

及び関係区と現地パトロールを行い、県道の一部に横断防止柵を設置した。今後も交通安全や事故防止のため、関係機関と協議を行う。

また、バス路線の変更については、土・日・祝日も利用可能な能生生涯学習センターのエントランスホールをバス待合所として活用するため、バス停留所の位置を糸魚川バス能生案内所から能生生涯学習センター前に変更し、利便性の向上を図るものである。

子どもの医療費助成は

質問

妙高市は子ども医療費助成として、通院では小学校卒業まで、入院では中学校卒業まで助成している。上越市も、今年4月から小学校卒業までの通院に対し助成する予定である。近隣市と同様に、当市も助成対象の拡大をできないか伺う。

また、子どものインフルエンザワクチンの接種率向上のため、全額助成を行えないか伺う。

教育長答弁

子ども医療費助成は、昨年度策定の「次世代育成支援行動計画」に、平成26年度までに小学校卒業まで助成対象を拡大する予定としており、前向きに検討する。

子どものインフルエンザワクチン助成については、市では今年度から18歳までの子どもと妊婦に対するインフルエンザワクチン接種の全回数の半額助成を実施しているが、現在は任意接種とされているため、全額助成の実施は考えていない。

《その他質問項目》  
・看護師の確保策  
・行政改革

雪の対応・活用は

質問

今冬の大雪による被害状況や除雪の課題、今後の春の農林道の除雪計画について伺う。

また、豪雪を前向きに利用するクリーンなエネルギーとして「雪氷エネルギー」の取り組みが広まっているが、当市での検討状況を伺う。

市長答弁

今冬の大雪の被害状況は、人的被害2件、住宅被害6件、

空き家や車庫などの被害9件、ビニールハウスの損壊5棟などである。また、除雪の課題は、屋根雪下ろし要員の確保や屋根雪の処理などである。

春の農林道の除雪は、ジオサイト等の観光地へ連絡する道路などについて、融雪除雪を行っている。

また、雪氷エネルギーの取り組みは、省エネルギーや二酸化炭素排出抑制などのメリットがあげられるが、貯雪庫にかかる費用など初期投資が高額になることから、現段階では考えていない。